

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

最低賃金 31円上昇

CTSたった10円

世界中で賃上げ求めストライキが激増

【事業所賃金（時給）改定内容】
（2022年10月～）

- ◎ 65歳以降の人の時給 + 20円
（最低時給が980円→1000円に）
 - ◎ 館山・鴨川・銚子事業所 + 20円
（時給が980円→1000円に）
 - ◎ その他の契約・パート社員 + 10円
 - 錦糸町 1120円 ■ 千葉エリア 1050円
 - 成田空港 1040円 ■ 成田 1030円
 - 木更津・一ノ宮 1010円
 - 銚子・鴨川・館山 1000円
- ※いずれも無期雇用者は+10円

JR鉄道サービス（CTS）は10月1日、最低賃金の改定（千葉県は+31円で984円）に対応して時給改定を行いました。

これでは実質賃下げ

最低賃金に抵触する65歳以降の時給、館山・鴨川・銚子事業所は20円の引き上げ、その他の事業所では契約・パート社員の時給を10円引き上げました。文字どおり法律に抵触しない最低ラインでの対応です。

昨年10月には28円の最低賃金の引き上げがあったにもかかわらずCTSはゼロ回答でした（今年1月に10円の引き上げ）。



世界中の空港や鉄道、港湾などで賃上げを求めるストライキが激増し、賃上げを実現した労働組合も少なくありません。英国では10月1日に17万5千人が、5日にも鉄道会社13社9千人超の運転士が賃上げを求めて全国ストに参加しました。

現場からの怒りの声、会社との力関係で賃金は決まらず。現場から声を上げ、今こそ大幅賃上げを！

さらに今年は31円上がったのに、わずか10円の引き上げにとどまっているのです。

毎日のようにニュースで報じられているとおり、物価は上がり生活は苦しくなる一方です。来年春にはもっと光熱費が上がると言われています。この1年で物価は2・8%も上がっています。物価上昇に見合う賃上げがなければ、実質的には賃下げです。

生きていけるだけの賃金を！

動労千葉の申し入れや団体交渉に対しても、CTSは「JR東日本が赤字」「会社の体力がない」と賃上げを拒否し続けてきました。物価上昇分を賃金に乗せし、社員の生活を守るのは会社の社会的責任です。